

令和4年度第1回墨田区地域包括支援センター運営協議会議事要旨

■日 時：令和4年7月25日（月） 午後1時30分から午後3時40分まで

■場 所：オンライン開催（事務局及び一部委員については、墨田区役所12階 121会議室）

■出席者（敬称略）

会長：鏡諭

委員：成玉恵、山室学、松田浩、北總光生、堀田富士子、湯川淳、鎌形由美子、岩田尚明、栗田陽、濱田康子、小谷庸夫、佐藤和信、村山厚子、福島洋子、関口芳正

事務局その他：福祉保健部副参事（地域包括ケア推進担当）、高齢者福祉課長、介護保険課長、障害者福祉課長、高齢者福祉課係長・主査3名、介護保険課係長1名、高齢者支援総合センター8名

■議 事

1 令和3年度高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室事業報告について

- ・ 事務局が墨田区高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室事業実施方針及び令和3年度の包括的支援事業に係る高齢者支援総合センター職員配置基準について説明を行った。その後、重点事業計画報告時期及び報告書の内容について説明を行った。
- ・ 各高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室が各所の事業計画・報告について説明を行った後、事務局が委託料についての説明を行った。

2 その他

- ・ 事務局が次回会議の開催時期について説明した。

■主な発言等

1 令和3年度高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室事業報告について

（意見）かねてからお伝えしているが、抽象的で誤解を生む可能性のある言葉が引き続き使われている。

（回答）表現としてより分かりやすくすべきと考えサブタイトルを設けた。ただ、偏った表現ととらえられてしまうこともあると考えるので、特定の表現を行政が使うことによって、生きづらさを地域やその人達に生じさせないように検討していきたい。

（質問）こうめでは、コロナ禍でも高齢者が自主的な活動を継続できるように様々な場を設立し、多くの方が参加できるように大変ご苦労されていると思う。活動が継続される中で難しい点があれば教えていただきたい。

（回答）担い手の減少が生じていることから中心的な役割を担う人が見つけづらい状況である。共通の趣味で集まる通いの場では、それぞれが楽しみながら各会の活動を行っているため既存の集い通いの場に比べると継続されやすい傾向がある。

(質問) こうめで実施した ICT 講座についてはどのように実施されたか。また今後どのように実施していく予定か伺いたい。

(回答) ICT 講座は単独で開催はしておらず、他の教室・集まりの場でテーマとして開催している。今後は、ICT 講座を定期的で開催していくことはもちろんのこと、わからないときにすぐに聞けるような体制、「こうめには気軽なことでも質問できる」ということを広報していきたいと考えている。

(意見) 各センターの重点事業計画・報告書の圏域別地域包括ケア計画の取り組みについての報告では書式の変更がされており、よりわかりやすく、アウトプット・アウトカムを意識し理解を深めるという意図が感じられ、工夫されたという印象を受けた。一方で、報告内容が増えることで、その作成のために時間を要することが想定される。報告のための事務が負担とならないように、報告のあり方については区が整理したうえで、各センターに指示した方がよいと考える。

(回答) すべての事業に対し詳細の報告書を作成することが負担になることは事実である。今後徐々に精査していきたい。

(質問) うめわかにか伺いたい。ネットワークを広げていくためにセンター、相談室が区民に求める情報としてどのようなものがあるか教えていただきたい。

(回答) どのような情報でも教えていただければありがたいが、やはり地域課題や区民の方が課題と思っていることを知りたい。地域ケア個別会議で上がった地域課題が区民の方にとっても課題として実感されているのか、相互で共有していきたい。

(質問) 機能強化型伺いたい。資料中の人材育成の結果部分に「意思決定支援を尽くしたとする判断基準の不明確さ」と記載があるが、この部分について今後どのように考えているか。

(回答) 研修実施後のアンケートでは、意思決定支援を行う上でのシートの具体的な活用方法について学びたいという意見が多数あった。今年度は、同じ研修講師を招いて研修を開催し、より意思決定支援について深めようと考えている。

■ その他

令和4年度第2回は令和4年11月9日(月)午後1時30分から開催予定。